

授 業 科目名	教職総合演習 α	必 修	開講年次	3	単位数	2
科目区分	教科または教職に関する科目（教職に関する科目：総合演習）					
サブ タイトル	総合的な学習の時間で「生き方」を考える	担当者	小松 伸之			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>中学校や高等学校では、教科学習とは別に「総合的な学習の時間」が設けられている。総合的な学習の時間は、従来の教科の枠組みにとどまらない領域横断的な内容を取り上げることで、学校教育において必ずしも十分ではなかった体験的な活動や思考の場を生み出すことをねらいとしている。</p> <p>本演習では、「総合的な学習の時間」の理念やねらいについての理解をもとに、「生き方」を全体テーマに、人間存在について考察を掘り下げていく。学生同士のコミュニケーションの場としてエクササイズを設けて、ともに考え、発表し、ディスカッションを行って体験的に学ぶ。人間関係の希薄化や直接的なコミュニケーションの不足が進む現代社会において、学校は他者との関わりが強く存在する場である。本演習では、教師に不可欠なコミュニケーション能力を高めることもねらいとする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>○「総合的な学習の時間」の理念やねらいについて理解することができる。</p> <p>○コミュニケーションを通じて、他者理解と自己理解を深めることができる。</p>					
履修条件	教職課程を履修している者					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）』 ※文部科学省ホームページからすべてダウンロードすること</p> <p>【参考書】適宜、教場で指示する。</p>					
授業回数	内容					
1	「総合的な学習の時間」とは何か					
2	「総合的な学習の時間」で何を身につけさせるのか					
3	「総合的な学習の時間」はいかに行われているか					
4	「総合的な学習の時間」をいかに組み立てるか①（年間指導計画）					
5	「総合的な学習の時間」をいかに組み立てるか②（単元計画）					
6	「総合的な学習の時間」の評価					
7	場をひらく（アイスブレイキング）					
8	他者との関係をつくる（傾聴）					
9	他者理解を深める①（T. P. O.）					
10	他者理解を深める②（怒りの温度計）					
11	自己理解を深める（ジョハリの窓）					
12	自己存在について考える（アイデンティティ）					
13	自分自身を振り返る（自分史）					
14	自分自身の生き方（Big Rock）					
15	まとめ					
評価方法	課題・個人レポート（70%）、コメント・平常点（30%） ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。					
評価基準	授業内容についてよく理解し、深く考察することができた者には「A」を与える。内容についての理解や考察に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	※平成 22 年度生からは選択科目					